

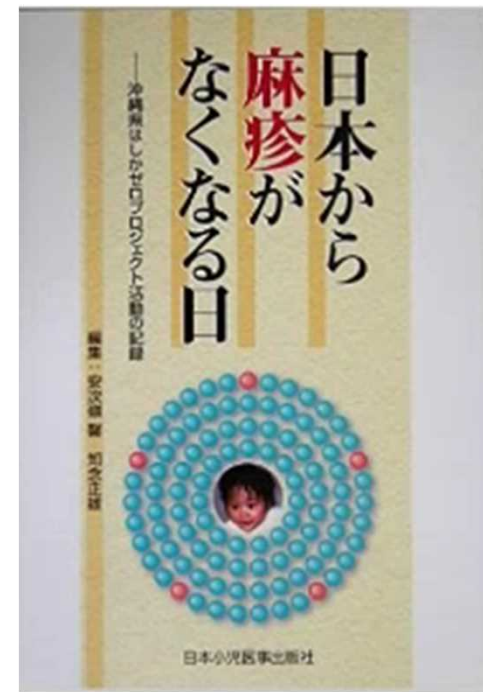
# おきなわの麻しん・風しん対策

■はしか“0”プロジェクトについて

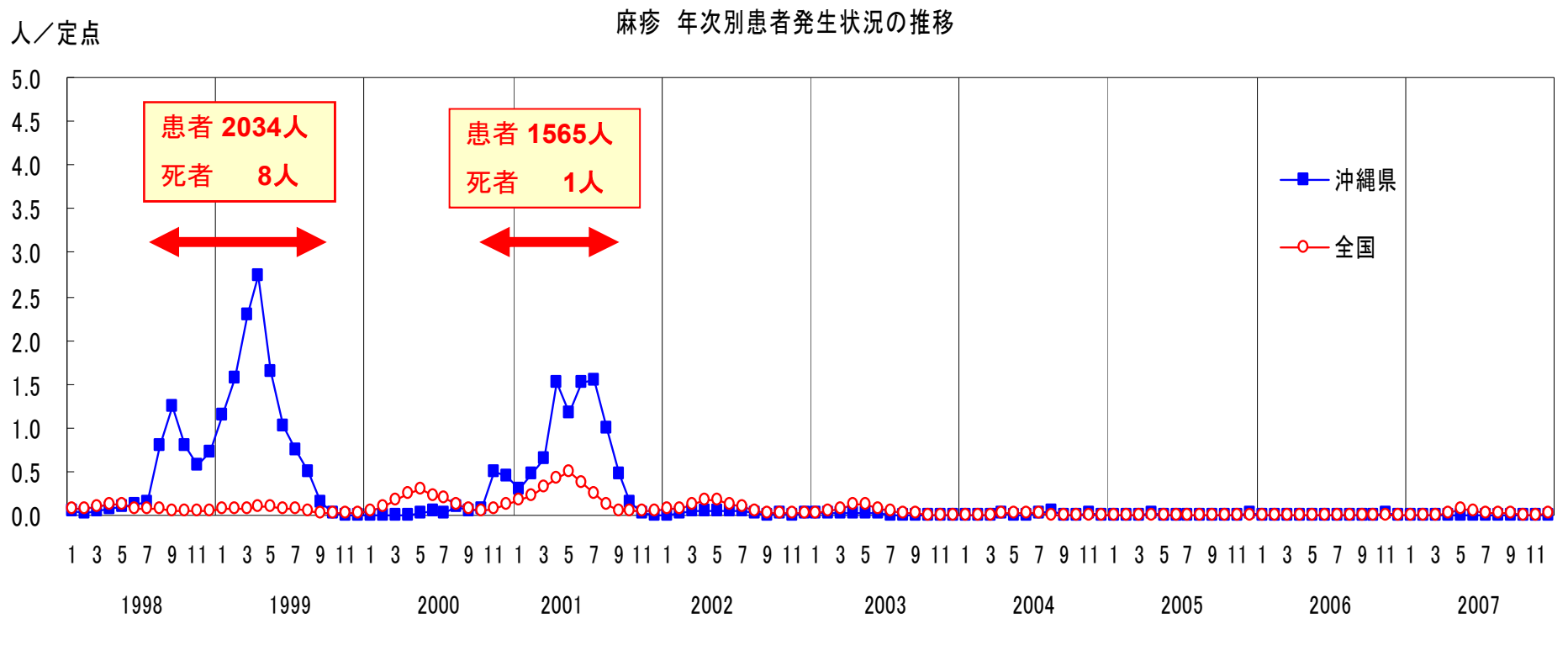
■観光客の増加と国際的イベントの対策について



はしか “0” ゼロ  
プロジェクトとは？



# 沖縄県における麻疹流行(1998-2007)



# 1998-2001年に沖縄県では麻疹が流行し 9人の小児が亡くなりました。

	年 齢	性別	接種歴	死亡時期	管内別
1	0才児（11ヶ月）	女	無	平成11年3月（肺炎・脳炎）	石川
2	0才児（11ヶ月）	男	無	平成11年4月（重症肺炎）	コザ
3	1才児（12ヶ月）	男	無	平成11年4月（間質性肺炎）	石川
4	1才児（14ヶ月）	男	無	平成10年10月（間質性肺炎）	コザ
5	2才児（32ヶ月）	女	無	平成10年11月（間質性肺炎）	コザ
6	3才児（44ヶ月）	男	無	（肺炎・脳炎）	石川
7	1才児（13ヶ月）	男	無	（重症肺炎）	石川
8	0才児（9ヶ月）	女	無	（重症肺炎）	中央
9	0才児（9ヶ月）	女	無	平成13年4月（間質性肺炎）	南部

## はしか“0”プロジェクトについて

「はしか」という病気は現代でも非常に恐ろしい病気ですが、予防は可能です。

もしもあの時沖縄で、多くの人が予防接種を受けてさえいれば悲劇は防げたかもしれない

という思いから、沖縄県内の小児科医、公衆衛生関係者、保健師がはしか根絶に向かって

平成13年4月に

「沖縄県はしか“0”プロジェクト」  
を立ち上げました。



# はしか“0”プロジェクト委員会

必要に応じて年間2～3回開催。

医師会(小児科、内科)  
県(本庁、保健所、衛生研究所)  
市町村、小児保健協会  
看護協会、保育協会など  
アドバイザー: 感染研

委員: 約40名



# はしか“ゼロ”を目指して プロジェクト2大対策

## ■ 予防接種率アップ対策

体制整備：広域化、無料化、個別接種化、マスコミとの連携

接種勧奨：通知方法、啓発、予防接種週間設定

未接種時対策：再通知の徹底、母子保健推進員との連携

研修：関係者への研修、ワクチン業者との情報交換

調査・研究：保護者への意識調査、各所の取り組み など

## ■ 発生時対策(まん延防止)

はしか疑い発生：迅速で正確な麻疹全数把握システムの構築

流行時対策：追跡調査、感受性者対策

情報の共有化：情報ネットワーク(メーリングリスト)の構築

など

## これまでの動き

平成10年～11年	<p>はしかの流行で8名の乳幼児が死亡。</p> <p>その流行の再、地域の保健所、市町村、小児科医などの関係者が県立中部病院のはしか病棟を視察。</p> <p>視察の時点で4台の人工呼吸器が稼働している状況に一同は大きなショックを受け、はしか対策の重要性を再認識する。</p>
平成11年	旧具志川市（現うるま市）において満6ヶ月以上の乳児に対してはしかワクチンを公費で接種。
平成12年～13年	再びはしか流行、さらに1名が死亡。
平成12年4月	市民公開セミナー「はしか“0”を目指して」を開催。
平成13年4月	沖縄県はしか“0”プロジェクト委員会、発足。
平成13年11月	行動計画書策定 → 県知事へ要請文とともに提出。
平成14年5月	はしか“0”キャンペーン週間の開催（以後毎年5月に開催）
平成15年1月	<u>麻しん全数把握制度の実施。</u>
平成15年9月	那覇市「五者会議」開催
平成15年10月	麻しん発生時対応ガイドラインの施行。
平成17年	全数把握制度において「年間患者ゼロ」を達成。
平成20年1月	麻しん全数把握制度の改訂。 麻しん発生時対応ガイドラインを改訂。
平成25年	風しんが全国的に大流行。沖縄でも52件発生。
平成26年	キャンペーンに風しんを加え、「はしか・風しん“0”キャンペーン」を実施。



# 異常児360例を発見

風疹障害児の実態調査まとまる



【本紙記者 東京二十一日電】厚生省が、風疹による障害児の実態調査の結果をまとめた。調査は、昭和四十一年四月から翌年三月にかけて行われ、全国にわたって実施された。結果、異常児は三百六十例が発見された。このうち、聴覚障害児が最も多く、二百一十例に達した。次に、言語障害児が九十例、知的障害児が六十例、その他の障害児が六十例と見られる。調査は、各都道府県の保健所を通じて行われ、医師や保健師による診断に基づいて実施された。この結果は、今後の風疹予防や障害児の療育に重要な手がかりを提供するものと期待されている。

## 最も多い聴覚障害

### 本土派遣の検診班が報

【本紙記者 東京二十一日電】厚生省が、風疹による障害児の実態調査の結果をまとめた。調査は、昭和四十一年四月から翌年三月にかけて行われ、全国にわたって実施された。結果、異常児は三百六十例が発見された。このうち、聴覚障害児が最も多く、二百一十例に達した。次に、言語障害児が九十例、知的障害児が六十例、その他の障害児が六十例と見られる。調査は、各都道府県の保健所を通じて行われ、医師や保健師による診断に基づいて実施された。この結果は、今後の風疹予防や障害児の療育に重要な手がかりを提供するものと期待されている。

## 風しん 障害児 全琉に三六〇人も

### 本土政府派遣検診班が報告

### 総合施策を強調

【本紙記者 東京二十一日電】厚生省が、風疹による障害児の実態調査の結果をまとめた。調査は、昭和四十一年四月から翌年三月にかけて行われ、全国にわたって実施された。結果、異常児は三百六十例が発見された。このうち、聴覚障害児が最も多く、二百一十例に達した。次に、言語障害児が九十例、知的障害児が六十例、その他の障害児が六十例と見られる。調査は、各都道府県の保健所を通じて行われ、医師や保健師による診断に基づいて実施された。この結果は、今後の風疹予防や障害児の療育に重要な手がかりを提供するものと期待されている。

## 政府の対策は待てない

風しんによる難聴



### 自費で専門教育

#### 親の会日本ろう話学校が協力

【本紙記者 東京二十一日電】風疹による聴覚障害児の療育に、ろう話学校の協力が進む。ろう話学校は、聴覚障害児の教育に長けた専門機関であり、そのノウハウを活用して、障害児の学習環境を整えることが期待されている。また、親の会によるサポートも重要な役割を果たしている。

### 心臓、白内障は手術

#### 来月、言語専門家を派遣

【本紙記者 東京二十一日電】風疹による障害児の療育に、言語専門家の派遣が進む。来月に、各都道府県に言語専門家を派遣し、障害児の言語能力を向上させることが期待されている。また、心臓や白内障などの疾患に対しては手術が行われると見られる。

69.1.20.(A) 1094

## 沖縄の難聴児対策に本腰

### 30日に検診団派遣

#### 言語訓練なども指導

【本紙記者 東京二十一日電】沖縄県の難聴児対策に、本土政府が本腰を入れる。来月に、沖縄県に検診団を派遣し、難聴児の診断と療育を進めることが期待されている。また、言語訓練などの指導も行うと見られる。



# はしか・風しん“0”キャンペーン週間

平成14年より毎年5月母の日に実施 —はしかを忘れない週間—  
 唯一沖縄県だけの週間？  
 イベントを開催しながら、チラシの配布

2012年はしか“0”をめざして!

## はしか“0”キャンペーン週間

5月13日(日)～19日(日)

「はしか・風しん混合(MR)ワクチン」を接種してください!

●1歳児  
 ●2歳児 就学期1年間の子ども(幼稚園児など)  
 ●3歳児 中学1年生まで  
 ●4歳児 高校3年生に相当する年齢

●接種率90%以上の自治体「はしか・風しん」が0になる  
 ●接種率80%以上の自治体「はしか・風しん」が0になる  
 ●接種率70%以上の自治体「はしか・風しん」が0になる

はしかワクチン接種率

自治体	接種率
北谷町	99.9%
糸数町	99.8%
糸島町	99.7%
糸織町	99.6%
糸織町	99.5%
糸織町	99.4%
糸織町	99.3%
糸織町	99.2%
糸織町	99.1%
糸織町	99.0%
糸織町	98.9%
糸織町	98.8%
糸織町	98.7%
糸織町	98.6%
糸織町	98.5%
糸織町	98.4%
糸織町	98.3%
糸織町	98.2%
糸織町	98.1%
糸織町	98.0%
糸織町	97.9%
糸織町	97.8%
糸織町	97.7%
糸織町	97.6%
糸織町	97.5%
糸織町	97.4%
糸織町	97.3%
糸織町	97.2%
糸織町	97.1%
糸織町	97.0%
糸織町	96.9%
糸織町	96.8%
糸織町	96.7%
糸織町	96.6%
糸織町	96.5%
糸織町	96.4%
糸織町	96.3%
糸織町	96.2%
糸織町	96.1%
糸織町	96.0%
糸織町	95.9%
糸織町	95.8%
糸織町	95.7%
糸織町	95.6%
糸織町	95.5%
糸織町	95.4%
糸織町	95.3%
糸織町	95.2%
糸織町	95.1%
糸織町	95.0%
糸織町	94.9%
糸織町	94.8%
糸織町	94.7%
糸織町	94.6%
糸織町	94.5%
糸織町	94.4%
糸織町	94.3%
糸織町	94.2%
糸織町	94.1%
糸織町	94.0%
糸織町	93.9%
糸織町	93.8%
糸織町	93.7%
糸織町	93.6%
糸織町	93.5%
糸織町	93.4%
糸織町	93.3%
糸織町	93.2%
糸織町	93.1%
糸織町	93.0%
糸織町	92.9%
糸織町	92.8%
糸織町	92.7%
糸織町	92.6%
糸織町	92.5%
糸織町	92.4%
糸織町	92.3%
糸織町	92.2%
糸織町	92.1%
糸織町	92.0%
糸織町	91.9%
糸織町	91.8%
糸織町	91.7%
糸織町	91.6%
糸織町	91.5%
糸織町	91.4%
糸織町	91.3%
糸織町	91.2%
糸織町	91.1%
糸織町	91.0%
糸織町	90.9%
糸織町	90.8%
糸織町	90.7%
糸織町	90.6%
糸織町	90.5%
糸織町	90.4%
糸織町	90.3%
糸織町	90.2%
糸織町	90.1%
糸織町	90.0%

25 ひとまち 1版 2012年(平成24年)5月13日 日曜日







麻疹・風疹ワクチンを2回接種することには、以下の3つの意義があります。

理由その1

1回の接種で免疫がつかなかった子どもたち(数%存在すると考えられます)に**免疫**を与えます。

理由その2

1回の接種で免疫がついたにもかかわらず、その後の時間の経過とともにその免疫が減衰した子どもたちに再び刺激を与え、免疫を**強固**なものにします。

理由その3

1回目に接種しそびれた子どもたちにもう一度、接種のチャンスを与えます。



持ち物に名前を...  
母子手帳にワクチンを...

国立感染症研究所 感染症情報センター IDSC

# 麻疹・風疹ワクチン なぜ2回接種なの？

小学校入学準備に2回目の麻疹・風疹ワクチンを受けましょう。



## 麻疹風疹混合ワクチンを

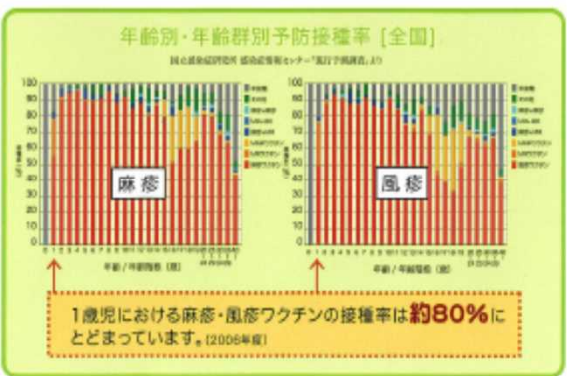


## 1歳のお誕生日のプレゼントにしましょう

現在、定期的予防接種としては麻疹・風疹混合生ワクチン(Merles-rubellaM混ワクチン)が主に用いられており、どちらかに罹患した場合は、麻疹単抗原ワクチン、風疹単抗原ワクチンが用いられています。

2006年6月2日から、第一期(1歳児)および第二期(5~7歳未満で小学校就学前の1年間の)2回接種が開始されました。

お子様が1歳のお誕生日を迎えたら予防接種を忘れぬようにプレゼントしてあげましょう。



接種医療機関に関しては、お住まいの市町村(特別区)にお尋ねください。

# 麻疹全数 把握事業

- ・全数把握(定点医療機関 + 定点以外の医療機関)
- ・患者の発生を「疑いの段階」で報告
- ・全ての症例でPCR検査を実施
- ・メーリングリストの活用

件名 No.14 H29麻疹全数把握調査(0613)について

宛先 上原真理子所長★, 知念寿子★, (宮古) 下地 朝夫★, (宮古) 仲里 可奈理★, (宮古) 上原 祥平★, 宮里 義久★, (中  
Cc 糸数 公★, 山川 宗貞★, (自分)★, (感染) 浦添 彩佳★

社) 沖縄県医師会担当者 様  
沖縄県はしか“0”プロジェクト委員会担当者 様  
各保健所、衛生環境研究所 感染症担当者 様

標記について、中部保健所よりNo.14の麻疹疑い症例の報告がありますので報告します。

※今回、追記した箇所を朱書きにしております。

--

差出人 (自分)★

返信 全員に:

件名 Re: No.14 H29麻疹全数把握調査(0613)について

宛先 (感染) 仁平 稔★, 上原真理子所長★, 知念寿子★, (宮古) 下地 朝夫★, (宮古) 仲里 可奈理★, (宮古) 上原 祥平★, 宮里 義久★, (中  
Cc 糸数 公★, 山川 宗貞★, (感染) 浦添 彩佳★

社) 沖縄県医師会担当者 様  
沖縄県はしか“0”プロジェクト委員会担当者 様  
各保健所、衛生環境研究所 感染症担当者 様

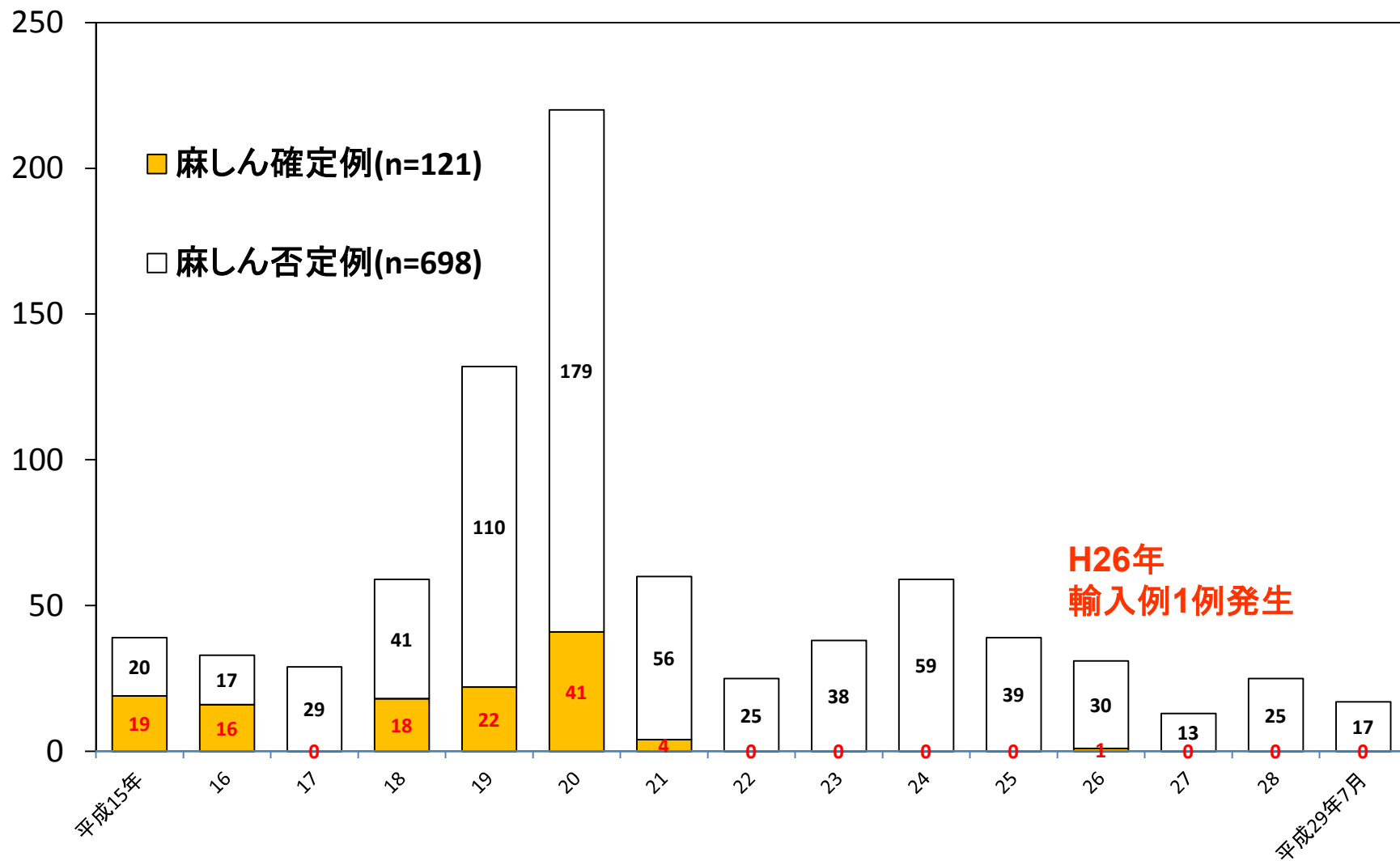
標記について、中部保健所よりNo.14の麻疹疑い症例の報告があり、PCR検査が終了しましたので、結果を報告します。

PCR陰性です。

※今回、追記した箇所を朱書きにしております。

# 麻しん全数 把握事業

## 麻疹確定例(平成15年-平成29年7月)





# 沖縄県の課題

## 2015年度 麻疹風疹ワクチン(MRワクチン)接種率全国集計表

2015年4月1日～2016年3月31日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70

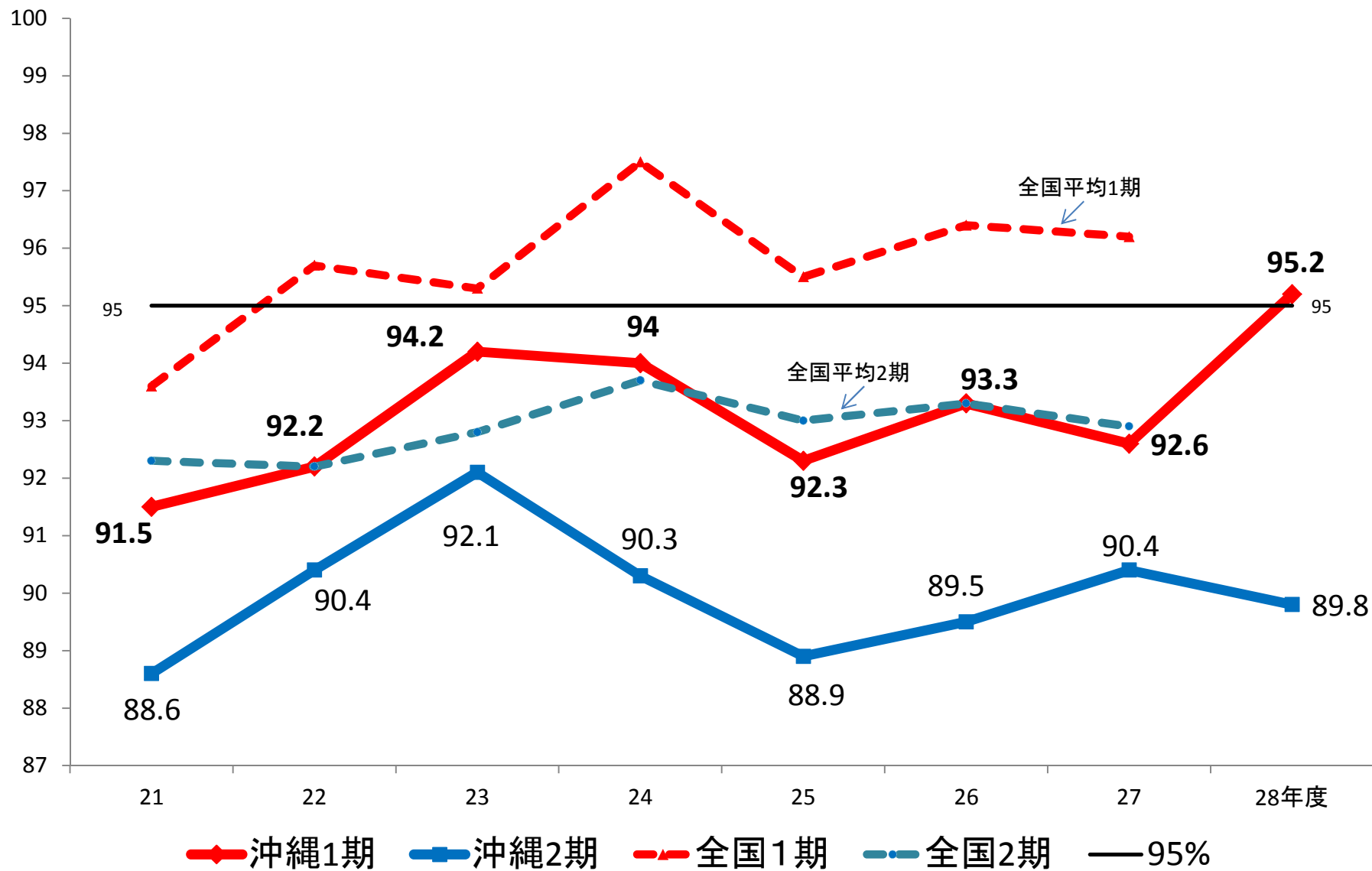
No.	都道府県	第1期	第2期
	合計	96.2	92.9
1	北海道	95.9	92.2
2	青森県	94.7	93.0
3	岩手県	97.0	92.6
4	宮城県	97.0	92.9
5	秋田県	96.6	93.9
6	山形県	96.6	95.1
7	福島県	94.7	94.4
8	茨城県	96.6	93.1
9	栃木県	98.0	93.8
10	群馬県	96.6	92.3
11	埼玉県	96.6	93.7
12	千葉県	96.7	93.0
13	東京都	97.3	89.8
14	神奈川県	97.1	94.0
15	新潟県	96.8	97.0
16	富山県	97.5	94.6
17	石川県	97.6	94.1
18	福井県	97.0	94.4
19	山梨県	94.8	93.1
20	長野県	96.6	93.5
21	岐阜県	94.5	92.4
22	静岡県	97.4	92.7

23	愛知県	96.9	93.5
24	三重県	97.5	93.6
25	滋賀県	97.9	94.9
26	京都府	95.1	91.5
		95.1	92.2
		96.0	93.0
		94.7	92.6
		97.0	92.9
		95.1	93.9
		93.9	95.1
		95.5	94.4
		95.1	93.1
		96.8	93.8
		97.8	92.3
		96.5	93.7
		97.2	93.0
39	高知県	93.3	91.4
40	福岡県	95.4	93.1
41	佐賀県	95.7	94.3
42	長崎県	95.5	92.0
43	熊本県	95.8	94.4
44	大分県	92.8	92.3
45	宮崎県	95.4	93.6
46	鹿児島県	94.9	89.1
47	沖縄県	92.6	90.4

MR1期(H27)  
全国平均 96.2

沖縄県 92.6  
全国ワースト1位

# 麻しんワクチン接種率の経過



## 2015年度 麻しん風疹ワクチン(MRワクチン)接種率市町村別集計表

	市町村名	1期接種率	2期接種率		市町村名	1期接種率	2期接種率
	渡名喜村	#DIV/0!	100.0%	22	沖縄市	92.4%	89.5%
1	中城村	104.6%	84.7%	23	名護市	92.2%	86.4%
2	与那原町	103.6%	96.5%	24	宮古島市	91.5%	95.6%
3	恩納村	101.1%	91.6%	25	浦添市	90.6%	89.9%
4	豊見城市	100.1%	88.0%	26	那覇市	90.5%	90.1%
5	伊平屋村	100.0%	107.1%	27	糸満市	90.3%	86.4%
	渡嘉敷村	100.0%	100.0%	28	嘉手納町	89.5%	87.6%
	座間味村	100.0%	100.0%	29	本部町	89.4%	83.6%
	粟国村	100.0%	100.0%	30	伊是名村	88.2%	100.0%
	南大東村	100.0%	100.0%	31	久米島町	83.3%	89.7%
	北大東村	100.0%	100.0%	32	伊江村	82.1%	92.6%
	大宜味村	100.0%	91.3%	33	今帰仁村	81.2%	82.0%
	与那国町	100.0%	85.0%	34	南風原町	81.1%	91.5%
13	うるま市	99.5%	90.1%	35	多良間村	80.0%	100.0%
14	読谷村	97.7%	92.8%	36	宜野座村	77.3%	91.9%
15	西原町	97.6%	91.6%	37	金武町	76.5%	89.5%
16	南城市	95.8%	87.1%	38	北谷町	76.0%	87.6%
17	宜野湾市	94.7%	96.6%	39	国頭村	73.7%	81.3%
18	北中城村	94.1%	92.9%	40	東村	57.1%	75.0%
19	竹富町	93.8%	86.0%				
20	八重瀬町	92.7%	89.7%				
21	石垣市	92.6%	96.2%				
	県平均	92.6%	90.4%				

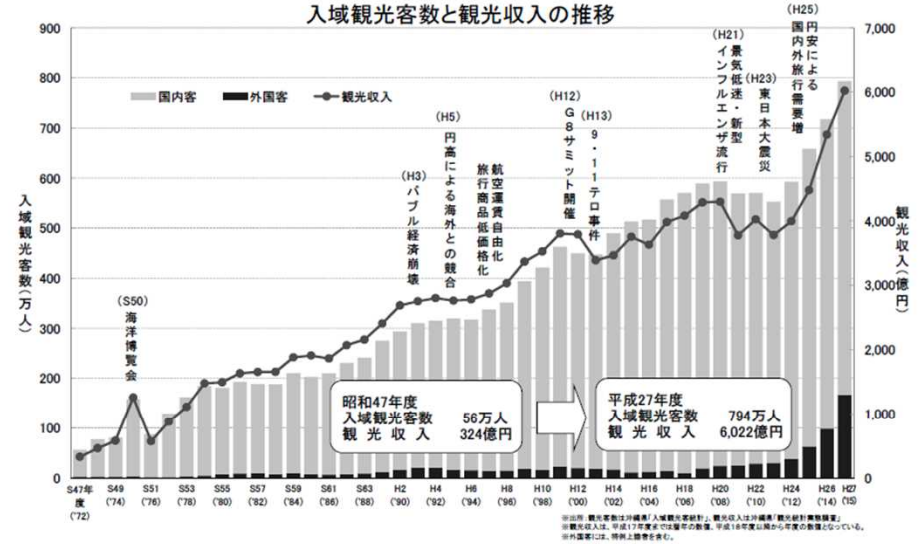
毎年、市町村担当者研修会を開催している。今年度は、麻しん対策について講演予定。引き続き、接種率が低い市町村への支援を実施する。



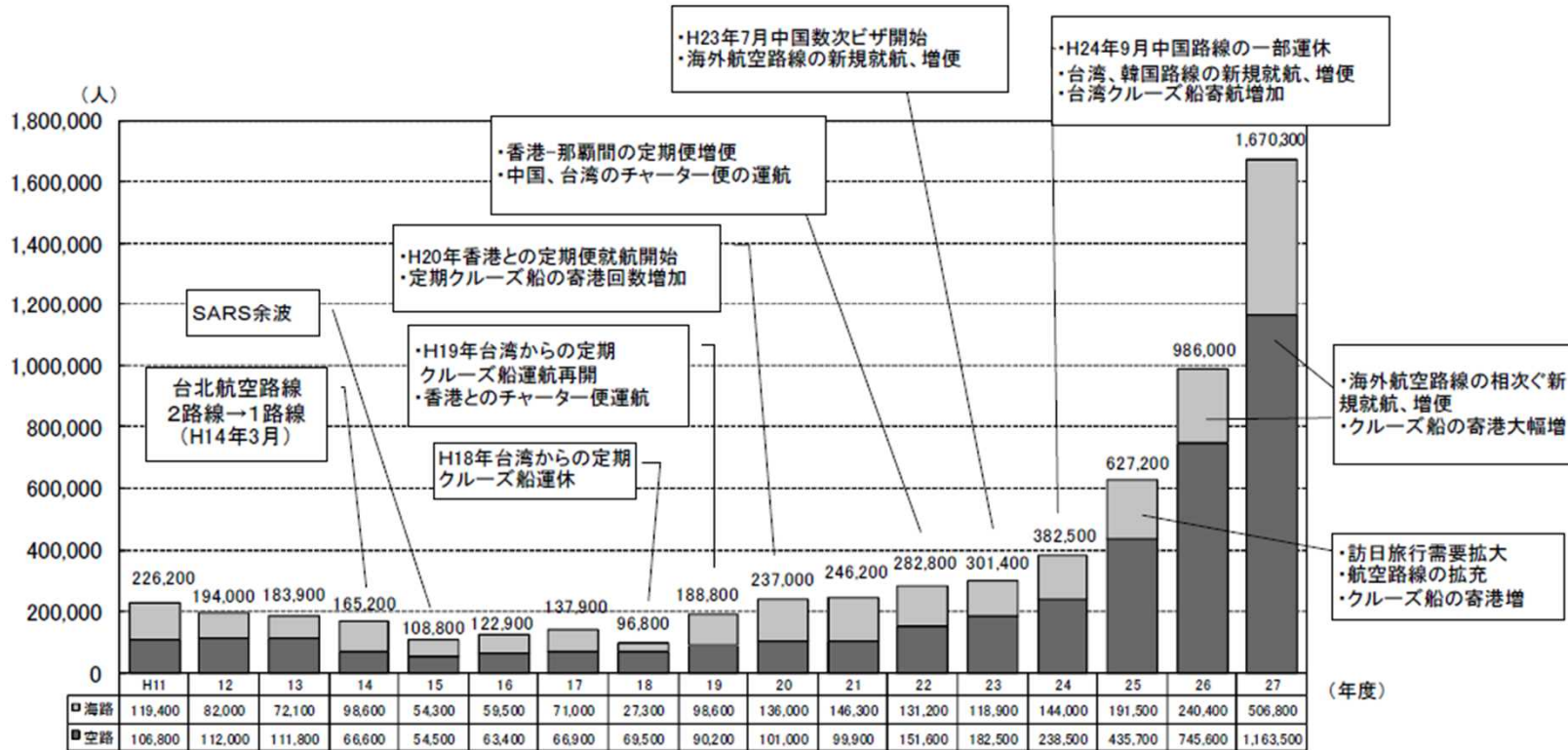
観光客の増加と  
国際的イベント  
の対策について

# 沖縄県の観光客数の推移

1 沖縄観光の推移  
(1) 概況(年度)



外国人観光客数の推移(空海路別)



# 県観光部局と協力して インバウンド連絡会議に参加



麻しんの説明  
観光業に関わる  
方への予防接種  
の必要性を訴える。

## ■内 容:

4.観光業に関わる方に知ってほしい感染症について

## ■開催日時・場所

- 本島南部:平成29年6月14日(水)
- 八重山:平成29年6月19日(月)
- 宮古:平成29年6月20日(火)★
- 本島北部:平成29年6月21日(水)

# 国際的イベントの対策

## 第6回世界のウチナーンチュ大会

### 【概要】

平成28年10月26日(前夜祭)から30日に、「第6回世界のウチナーンチュ大会」が、海外から約5,300名以上を迎え、那覇市内の会場を中心に開催される。

(最終報告は26カ国約7,300人参加)

### 【強化サーベイランスの実施】

大会開催に伴い、常時行っているサーベイランスに一定期間強化するサーベイランスを加え、その分析等の情報を関係機関に、迅速に共有することにより、感染症等の異常な発生の早期探知、並びに迅速な対応を行うことで、被害の拡大を防ぐことを目的として、沖縄県内全域において「強化サーベイランス」を実施した。





## 【内容】

- 強化疑似症サーベイランス
- 麻しん発生全数把握調査
- 学校欠席者情報収集システム
- 薬局サーベイランス
- 発生動向調査(週報)

## 【麻しん対策について】

去年は、関西空港の集団発生事例等もあり、強化サーベイランス実施の通知も兼ねて、医療機関へ麻しん発生全数把握調査事業について、改めて疑い報告について周知ができた。この間の麻しん疑い報告は3例あった。

また、学校サーベイランスにおいても、麻しんの入力が見られた為、保健所は速やかに調査を行い、入力ミスであることを把握した。学校関係者においても、麻しん対策について周知ができた。

## 【まとめ】

今後も定期的に開催される世界のウチナンチュ大会や大規模なスポーツ大会といった国際的なイベントの開催、また、観光客の増加や米軍基地の存在等、麻しんを含む輸入感染症の発生リスクが大きい沖縄県においての感染症対策は、市町村、医療機関、学校等、県民が一丸となって引き続き強化していかなければならない。

**予防接種率の向上は、主な対策に位置づけている。**



ご静聴ありがとうございました。